私学の魅力

四天王寺高等学校 四天王寺中学校

私立中高一貫校ならではの教育

【大阪市天王寺区】

稲葉 良一 校長

和を以て貴しとなす

本校は聖徳太子様が建てられた四天王寺境内の中にあります。その聖徳太子様の和のご精神、十七条憲法の第一条「和を以て貴しとなす」を本校の学園訓では一番最初にあげており、これが建学の精神の柱になっています。

ただ仲良くすることが「和」ではなく、いろいろな意見を持つ人達とお互いの良いところは認め合い、変えるべきところは変え、相手の立場を理解し、全体として良いものを作っていこう。というのが聖徳太子様が言われた「和」ひいては慈悲の心に繋がります。仏教を通して心の教育というものをめざしている我々が思っているのは、慈悲の心を中心に知恵ではなく智慧を持つこと。つまり、単なる知識ではなく総合的な知識とでも言いましょうか、それが21世紀に向けて求められる想像力、多様性の理解力、対話力に必要なのです。こういったものを十分に理解し、秩序を持った和の世界を創造できる、社会に貢献できる女性の育成を目指しております。

女子教育の良さ

昨今では、単性教育の良さも言われ始めまして、その理由のひとつとして発達段階において脳には性差のあることが最近の研究でわかってきました。最終的にはその差は無くなるのですが、特に小学校高学年から高校2年生までの間というのはこの性差が非常に大きいと言われています。もっと簡単に言いますと、男子は人にたずねるのを嫌がりますが、女子は人にたずねることをいといません。他にも、手先の器用さや言葉が達者であったりします。このような特性をとらえて教育すると女子は非常に伸びます。その一番顕著なのは、数学や物理、科学などで、教え方ひとつで変わります。本校の生徒は7割が理系です。理系をすすめているわけではありませんが、その生徒達は、ほぼ望んだ大学へ進学しています。これは本校だけでなく、女子校は理系の生徒が多いのです。それは女子でも理系を伸ばす教育をするからです。

安心を与える教育 自然に勉強できる環境

まずは安心させて教育をする。どういうことかといいますと女子は質問することを嫌がりません。授業が終わるとすぐに「先生、分からないのでもう一度教えてください」など、とにかく自分でしっかり理解しておきたいという安心感が欲しいわけです。男子は質問よりも自分で何とかしようとする。少し違うのです。女子は寄り添ってあげるということがものすごく大事なのです。

本校の自習室には卒業生が家庭教師のように教えに来ます。生徒たちは率先してその日のうちに分からないことを聞いて理解し、分からないままにしない。もともと女子は真面目なので自分で勉強してどんどん伸びます。ですからスパルタで早く早くという勉強法は女子にはあまり向いていません。少しゆっくりめに砕きながら寄り添いつつ進めていく方法が効果的です。これが単性教育なら出来やすくなるのです。

もうひとつ女子校の良さとして、リーダーシップを発揮する子が育ちやすいことです。男子は縦の繋がりが主になってきますが、女子は縦よりも横の繋がりが非常に強い。例えば、本校の体育祭では学年別に競技をします。その中で自分達でさまざまな企画を考え作り出し、作業も自分達で行うので非常に独立心が強くリーダシップを発揮する。本校の生徒達を見ていて思うのですが、お互いの得意不得意をうまく補い合っています。それに、クラブ活動も勉強も先輩の背中を見て育っていることを感じます。

本学園の設置母体である四天王寺は、推古元年(593年)、聖徳太子により建立されました。聖徳太子は同寺で世の中の平和や繁栄の実現に貢献すべき人間形成を大志とした「四箇院の制」(悲田院・療病院・施薬院・敬田院)を設けられ、そのうちの敬田院が、慈悲救済を使命として生きる人格者を育成するという教育事業にあたります。そして、聖徳太子御忌1300年を迎えた大正11年(1922年)、初代校主 吉田源應天僧正が当時の世相に鑑み社会に資する女性の育成を目的に敬田院事業の実践たる場として、天王寺高等女学校を創立されたことに始まります。

先輩が一生懸命、自習室で朝早く授業前から勉強しているのを見て、私達もああやって頑張るんだという思いが、自然に後輩たちに引き継がれているようです。勉強することが当たり前になるのです。これは本校の強みだと思っています。

中学校の新コース 令和三年度スタート

現在、日本の教育は大きな変換期にあります。文科省では21世紀型の教育ということで、多様な学習の機会と場を提供しなさい。全ての生徒が基礎的な読解力、数学的な思考力、情報を活用する力を習得させなさい。そのためには現在までのような文系理系ではなく、文理分断から脱しなさい。という3点を揚げています。これからはいわゆる文系理系の教科を超えた力。理数系の子でも読解力は必要ですし、文系の子でもグラフの解析力など理数系の能力が必要になります。

今回の新コースは「医志コース」「英数Sコース」「英数コース」の3つ。「医志コース」はこれまでのように医学をめざす子のために。そしてそれ以外をめざす子たちのために「英数コース」、さらにこれからの国際化を考えるともっと世界に出て活躍できるよう英語教育に力を入れた「英数Sコース」を設置。この「S」は、21世紀型教育STEAM(サイエンス、テクノロジー、エンジニアリング、アーツ、マスマティックスの5分野の頭文字を取ってつけられた)の頭文字「S」をとって英数Sコースとしました。ここでは文系理系に及ばず教科を超えた力をつけ、さらに国際教養を身につけ、世界の大学への進学も視野に入れています。そのため、語学研修はイギリスの名門女子校チェルトナムへ。かつて、津田塾大学の創設者で女子教育の先駆者である津田梅子さんや実践女子大学を創設した下田歌子さんがここで女子教育の基本を学びました。そのような伝統ある女子校のサマースクールに参加することになっていたのですが、今年は新型ウィルス感染拡大の状況で叶わないことになり残念です。私は去年、現地でチェルトナムの校長先生とお話しさせて頂きました。教育理念も通じる所がたくさんあり意気投合し、これからも夏の2週間をチェルトナムの寮をお借りして英語漬けの毎日を過ごせる機会に恵まれることになりました。

このような体験を通して生徒たちには国際感覚を身につけて欲しいと思っています。現地に行って、実際にその土地の空気を吸って会話してもらいたいのです。まして中高校時代は影響力が凄くありますから、そこで感じ取る影響は、大人になって感じ取るものとはまったく違います。生涯に渡っての財産になると思っています。

英数コースは旧コースの英数Ⅰ・英数Ⅱをひとつにしたコースです。このコースに在籍する生徒たちは女子教育ならではの恩恵を一番受けるのではないかと思います。基礎学力をしっかり固めた後に応用へと進める手厚い教え方で育成していきます。

医志コースはこれまで中高通して6年経ちました。その過程で内容は非常に充実しました。キャリア教育にも重点を置いております。本校の前にある四天王寺病院で実際に手術室へ入っていろいろな器具を触らせてもらったり、京大・阪大・近大の医学部では実際に血圧の測り方や採血の方法、妊婦体験、医師によるゼミなど様々な体験学習ができます。さらに各大学では在学中の本校の先輩たちがサポートしてくれるので、先輩がいる大学へ進みたいと思う生徒も多いのです。自分の夢への刺激を受ける年頃ですから、様々な体験を通じて将来像が具体化していくと思います。

いずれのコースで学ぶにせよ、中高校時代に本物に触れて刺激を受ける、そうして良いものを掴んでいき、自分の良さを生かせる大学の学部学科に進んでもらいたいと思っています。

誇るべき進学状況

今年の合格者は国公立大学へ245名。国公立大医学科への67名は全国ランキングで4位。女子校では1位(令和2年4月15日現在)。特にここ10年くらいは医学部医学科への進学が多いですね。生徒たちの努力の成果が発揮されています。そして女子校ならではの単性教育が実を成しているのだと思います。

広告 企画・制作／大毎広告株式会社

描く未来

四天王寺中学校

令和三年度
新コース制度

医志コース
英数Sコース
英数コース

これまで四天王寺高等学校・四天王寺中学校は、
聖徳太子が帰依された仏教の精神を持ち、
社会に貢献できる女性を数多く輩出してきました。
どのような時代であっても必要とされる、人間力の資質・感性を磨き、
慈悲の心に基づいた智慧を身につけ、創造力・多様性理解力・対話力を培い、
和の世界を作り出す女性を育成するために、
四天王寺高等学校・四天王寺中学校は進化しつづけます。

医志コース 強い使命感、高い倫理観を備えた医療者を志します。[医歯薬系進学]

本コースでは、志の基盤として、仏教教育や知的・教養的でアクティブな講座を充実させ、新しい教育観を踏まえた主体的学びを実践させます。さらに重要な基盤として、国内外の最難関医歯薬系大学・学部の入試を突破し、大学進学後も厳しく真摯に学び続ける能力を高めることを目指しています。時代が変わっても、知識を十分に蓄え、知性を磨くことが真の教育であると確信し、高いレベルの「学びの質と量」を確保しながら、生徒たちに日々努力を続けさせます。

英数Sコース [最難関国公立大学文系・理系、海外大学進学]

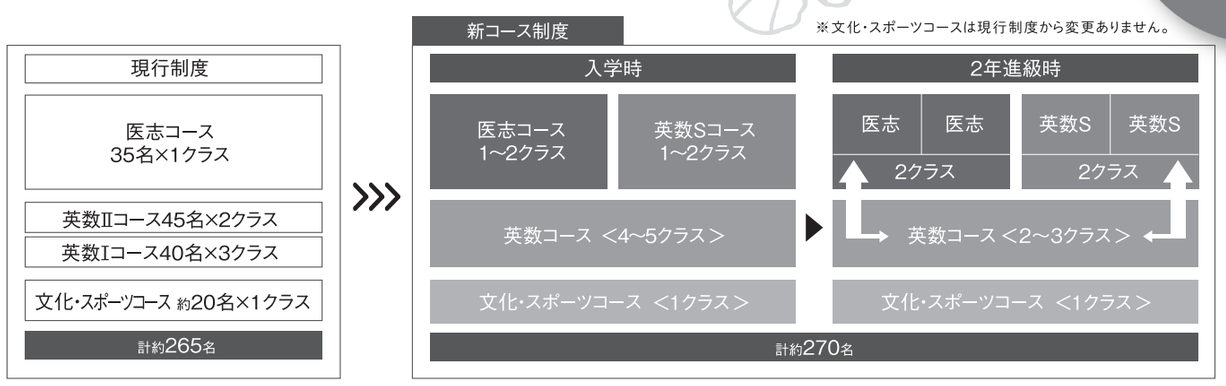
高い学力と豊かな人間性、主体性を身につけた国際人を志します。

本コースでは、自分で考え、自分で行動できることを柱に、インプットだけでなくアウトプットにも力を入れ、好奇心、向上心旺盛な人物を育てていきます。また、幅広い国際教養を身につけるために、国内外の多彩な英語体験型学習プログラムを充実させます。学習面では文系理系を問わず、今まで医志コースで培ったプログラムを、非医歯薬系大学学部を目指す生徒のために再編し、最難関大学進学を可能にする学力養成に力を注ぎます。

英数コース [最難関国公立大学文系・理系進学]

6年間の全人教育を礎に社会の多様なリーダーを志します。

本コースでは、質・量ともに豊富な学習活動を通して、努力を積み上げながら達成感を味わえる「四天王寺(英数)スタイル」に、生徒が楽しく取り組める新しい教育プログラムを融合させます。学習面では、苦手教科を作りにくい習熟度に応じた授業を実践し、生徒一人ひとりを手厚くサポートしながら、基礎から応用への理解を深めます。全人教育を目標に、最難関大学の文系・理系進学にとどまらない、社会で活躍できるリーダーを育てます。



四天王寺高等学校 四天王寺中学校

本校に関する詳細はホームページをご覧ください。http://www.shitennoji.ac.jp

連絡先 〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目11番73号 TEL.06-6772-6201

卒業生の大学等合格状況 (令和2年 合格者数) R2.4.15現在

国公立大学 合計 245名合格!!

国公立大学医学部医学科 67名合格!!

全国第4位! 女子校全国第1位! 過去最高数!